



# ほけんだより 10月号

## 「麻疹」とは・・・

「麻疹」は、感染力の強い感染症です。体育館をしめきった状態で、感染している人が1人いた場合、免疫を持っていない人は、90%の確率で発症するとされています。

感染経路	空気感染（空気中のウイルスをすいこむ）、飛沫感染（しぶきをあびる）
症状	<p><b>カタル期</b>：眼球結膜の充血、眼脂（目やに）、発熱、咳、鼻水の呼吸器症状、口内の頬粘膜にコプリック斑（白い斑点）</p> <p><b>発しん期</b>：一旦熱が下がり、再び高熱がでて赤い発しんが生じる →耳の後ろから顔面にかけて出始め、全身に広がる →発しんが消えた後、褐色の色素沈着がある</p> <p><b>回復期</b>：発しん出現後、7～9日で解熱する</p>
合併症	肺炎、中耳炎、喉頭炎（クループ：のどの奥がはれ、特徴的な咳や呼吸困難がみられる） 脳炎
まれな合併症	亜急性硬化性全脳炎（SSPE）といわれる致命的な脳炎 ※罹患から数年後に発症
診断	血液、咽頭ぬぐい液、尿からのウイルス遺伝子の検出法（PCR 法）
治療	有効な治療薬なし→対症療法
出席停止期間	解熱した後3日を経過するまで ※学校保健安全法施行規則



## 予防接種について

「麻疹を確実に予防するためには、1歳以上で2回の予防接種が必要である」（予防接種法H29.6）

第1期：1歳

第2期：5歳以上7歳未満（小学校入学前1年間）

2回の摂取がお済みでない場合は、接種を検討されてみてください。母子手帳で、摂取歴が確認できます。

## 感染の可能性がある時

★登校前に検温する→37.5度以上の場合、感染の可能性があるため受診する

※受診の際は、受診する医療機関に事前に連絡する。（身近に麻疹に感染している人がいるか等を伝える）

★患者と接触した後72時間以内の場合→麻疹含有ワクチン（麻疹風疹混合ワクチン（MRワクチン））の緊急接種を行うことで予防できる可能性がある

★患者との接触後6日以内の場合

→**ガンマグロブリン**（血液製剤）の注射により発症を予防できる可能性がある

※筋肉注射、投与量が多い、痛みが強い

→予防はできるが確実ではないため、やむを得ない場合にのみ使用する